

令和3年度

第5回常任理事会

場所：リモート会議

日時：令和3年 9月9日(木)

沖縄県バレーボール協会

<http://www.oki-va.com/>

会議次第

会長あいさつ 会長 大兼康弘

1. 議題

(1) 天皇杯皇后杯九州ブロックラウンド

総務委員会

競技委員会

① 無観客

② 登録メンバー+ 補助員 8 人 +部員可

③ 入館者リスト等提出を義務化

審判委員会

(2) 令和 3 年度補正予算案

2. その他

第 6 回常任理事会

10 月 日 ()

場所 緊急事態宣言解除に会場を予約します。

出席者(22 名)

大兼康弘 () 平川美知枝 () 上里 厚 () 新城 武 () 田里一美 ()
川田 学 () 平山常仁 () 大城 正 () 我謝正精 () 宇地原 光 ()
東風平和成 () 奥住竜馬 () 平良正和 () 池田 武 () 照屋 司 ()
花城 賢 () 平良清美 () 與儀実誠 () 松田 勇 () 田里 学 ()
濱川 平 () 事務局長 比嘉健一 ()

委員長 平山常仁 副委員長 平良正和

委員 平山常仁 副委員 平良正和

No	仕事内容	仕事内容	事前	当日	事後	開始日	メ切	担当	備考	
1	総務	全体企画						○平山 平良正和		
2	文書関係	総務の全体企画 各係と連携及び相談								
		総務委員長の補佐 各世話係の仕事の指示								
		公文作成、郵送	○			8/5	8/20 済	○平山	郵送 健一、謙治	
3	宿泊関係	公文作成、郵送	○			8/1	8月中旬 済			
		お礼文の作成			○	9/10	9/19			
		大会役員ホテルの予約	○			8/2	8月下旬 済	○平山	宮里盛堅	
4	会計	県外役員のホテルの予約	○				9/7			
		県内役員のホテルの予約	○				9/7			
		JTBにホテルの予約を依頼する	○							
		九州連盟、派遣審判の調整	○							
		三役と調整 審判委員会と調整	○							
		仮払い申請書申請	○				8/20	9/3 済	○宮里盛堅	比嘉健一 志喜屋謙治 松田勇 石川 進
		仮払い見積書申請	○				8/20	9/3 済		
		交通費、渡航費の調査	○				8/21	9/3 済		
		仮払い清算書(大会後提出)				○				
		現金出納(大会後提出)				○				
旅費支払い	役員手当の準備 旅費支払い名簿作成	○								
	役員へ旅費及び交通費の支払い 押印	○								
	領収書を印刷して準備 会長印を押印	○								
領収書 精算	各領収書を集める	○								
	精算				○					

No	消耗品	リスト、購入	仕事内容	事前	当日	事後	開始日	メ切	担当	備考
5	消耗品	リスト、購入	消耗品購入のリスト コロナ関係						○鳥袋小百合	
6	代表者会議資料作成			○						代表者会議なし
7	大会プログラム作成	チーム選手名簿	JVAにて作成及び印刷 大会会場へ郵送される	○				済		
8	物品販売	受注販売	各チームに連絡(メール)し注文を呼びかける 大会当日グッズの受け渡し、精算	○				済		オンライン販売
9	受付		受付名簿作成	○						小百合
			役員の受付							小百合、譲治
			玄関で受付(チーム、)検温							小百合、譲治
			IDカード	役職、役員名確認 カードの印刷 IDカード購入	○					100枚
10	駐車場		IDカードを役員へ配布及び回収	○						大庭(打診中)
			来場方法調査 各チームに調査を行う							小百合
			駐車場計画作成	○						小百合
11	清掃		場内整理	○						喜屋武
			清掃業者へ依頼	○						小百合
12	掲示物・表示関係		Publisherで作成 大型プリンターで印刷	○					○仲座辰子	福原対応
			立て看板	○						福原対応
			ふんどし作成	○						淳子
13	弁当		案内表示を掲示を行う	○						淳子
			役員の人数を確認 弁当業者に予約を行う	○						辰子
14	接待		接待道具準備 菓子類、飲み物購入	○						辰子
			飲み物準備、弁当配布							○
15	用具の準備		事務用品の準備	○						譲治
16	HP掲載		大会情報をHPに掲載する	○					福原悠二	
17	健康チェックシート		2週間前の健康状態及び検温を指示する 当日提出	○						平山、川田、大城

大会運営ガイドライン

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)
に関する感染防止策

2021年 3月 5日 更新版



1. 大会運営ガイドラインについて

本ガイドラインは、新型コロナウイルス感染症拡大における大会開催の際に、安全・安心に運営ができるように、これまでの大会を参考に実際に協議・検討した事項やその取り組みについてまとめたものです。2021年1月開催の春の高校バレー（ジャパネット杯第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会）における新型コロナウイルス感染に対する対策と運営についての留意点も盛り込んだ更新版を作成しました。

新型コロナウイルス感染状況は刻々と変化しています。指針とは異なる事柄や指針にはないような状況に直面する場合もあるかと思われます。その際は国や都道府県、関係省庁の指針だけでなく、このガイドラインも参考にしてください。そして、参加者や関係者の「安全・安心」を最優先に大会運営に当たってくださいますようお願いいたします。

2. 大会・講習会や研修会開催における留意点について

- (1) 感染拡大の状況および政府や開催地都道府県、それぞれの施設管理会社の指針に基づいて主催者側を含めた関係部署での十分な協議が必要になります。感染リスクへの対応が整わない場合には、中止または延期するなど慎重に決定してください。
- (2) 大会の主催者は、障がい者や高齢者などを含む参加者それぞれの属性を勘案して、感染防止のために自らが実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理することが求められます。また、各事項については、適切な場所（大会の受付場所等）に掲示するとともに、各事項が遵守されているかを定期的に巡回・確認することにより、大会の主催者だけでなく、参加者を含む関係者全員が感染防止に取り組むことが必要です。
- (3) 大会等の主催者は参加募集に際し、感染拡大の防止のために参加者が遵守すべき事項を明確にして、協力を求めてください。参加者の安全を確保するため、これを遵守できない参加者には大会等への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることを周知してください。なお、大会等の主催者が参加者に求める感染拡大防止のための措置として、以下が挙げられます。
 - ① 次の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせることを（大会当日に書面で確認を行う）
 - ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 直近14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合



- ② マスクを持参すること（受付や着替え等の競技を行っていない時、また会話をする際には、マスクを着用すること）

- ・移動しているとき
- ・競技を行っていないとき
- ・ベンチにいるとき
- ・会話をするときにはマスクを着用してください



- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行うこと

- ・入館・退館時
- ・食事の前後
- ・トイレの後
- ・競技後など



- ④ 他の参加者、主催者スタッフとの距離を確保すること（できるだけ2m以上）
（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）



- ⑤ 感染拡大防止策のために、主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと
- ⑥ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

(4) 大会の主催者は、大会当日の受付時に参加者が密になることの防止や、安全に大会を開催するため、以下に配慮して受付事務を行うことが必要です。

- ① 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること
- ② 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること
(状況によっては、発熱者を体温計などで特定し、入場を制限することもある)
- ③ 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること
- ④ 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと
- ⑤ 受付を行うスタッフには、マスク・フェイスシールドを着用させること



⑥ 当日の受付のほか、大会前日の受付を実施し混雑を極力避けること

(5) 大会参加者への対応として、参加チームの代表者および大会役員・競技役員等には、以下の事項を記載した書面の作成と提出を依頼してください（健康チェックシート）

① 健康チェックシート（大会当日の体温、大会前2週間における以下の事項の有無）

ア 平熱を超える発熱

イ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状、嗅覚や味覚の異常

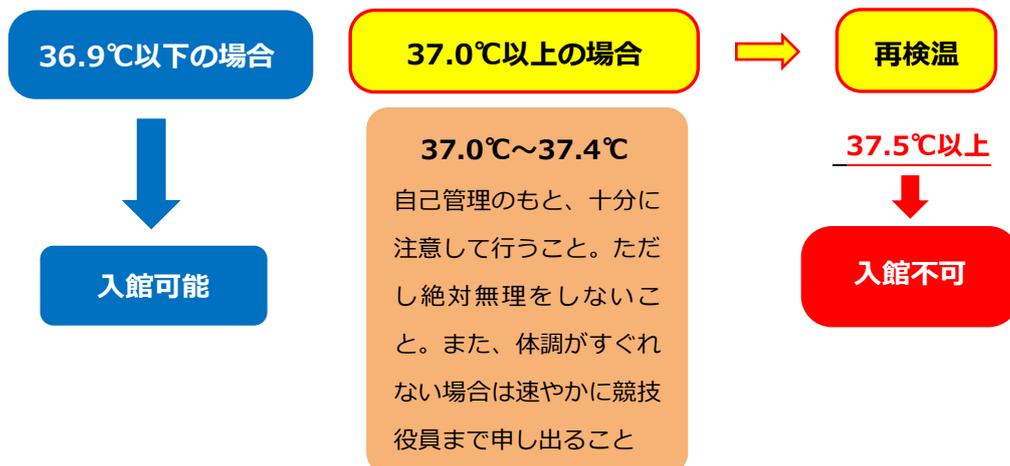
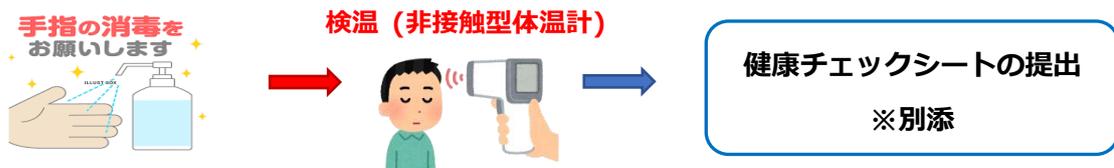
ウ 体が重く感じる（だるさ、倦怠感）、疲れやすい、息苦しい（呼吸困難）等

エ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無

オ 同居家族や身近な知人の中で感染が疑われる方の有無

カ 直近14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触の有無

② 入館の際は、受付→（IDパスチェック）→手指の消毒→検温→健康管理シートの提出を実施。





(6) チーム控室、更衣室、競技役員控室、補助役員控室、荷物置き場など休憩・待機スペースは感染リスクが比較的高いと考えられることに留意することが必要です。大会等の主催者は、更衣室や、一時的な休息をするための休憩スペース、参加者等が参加前の確認を受ける待機スペース（招集場所）について、以下に配慮して準備することが求められます。

- ① 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること（障がい者の介助を行う場合を除く）
- ② ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること
- ③ 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取っ手やテーブル、椅子等）については、こまめに消毒すること
- ④ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること

(7) 受付終了後、それぞれ控室・競技場に移動する際に、チーム（選手）と競技役員または観客との動線を区別し、更に会場のゾーニングと動線について設計をお願いします。

- ① 会場のゾーニングを徹底することで、感染者が発生した際の影響範囲を限定することが可能になります。

ゾーン1：競技関連

- ・コート、ベンチ、ウォームアップエリアを含む競技エリア
- ・選手入場口
- ・選手および審判員の控室

ゾーン2：大会運営スタッフ等

- ・運営スタッフ控室
- ・プレス席（プレス控室）

ゾーン3：観客・保護者・応援団等

- ・客席・保護者・応援団

- ② 各エリアのゾーニングおよびゾーン毎の動線を設定しながら、人と人との接触を制限してください。特に「ゾーン1」に入る関係者については必要最低限の人数での運営をお願いします。



(8) 大会等の主催者は、参加者がイベント開催・実施の間に手洗いをこまめに行えるよう、以下に配慮して手洗い場所を確保することが必要です。

- ① 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
- ② 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
- ③ 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意すること
- ④ 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること
- ⑤ 手指を乾燥させる設備については使用しないこと、参加者にマイタオルの持参を求めること

(9) 洗面所（トイレ）についても感染リスクが比較的高いと考えられることに留意することが必要です。主催者は、洗面所について、以下に配慮して管理することが求められます。

- ① トイレ内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること
- ② トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること
- ③ 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること

(10) 大会の観戦やイベントに観客も参加させる場合には、観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をとることが求められます。また、大声での声援を送らないことや会話を控えること、会話をする場合にはマスクを着用することや外履き等の留意事項を周知することが必要です。

(11) 大会会場において、屋内で競技を実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行う必要があります。しかし、試合中は遮光の関係で暗幕を閉じる必要が出てきます。窓を開けながら行うとしても気温上昇にともない、定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うことが大切です。具体的には空調設備や必要に応じて扇風機を活用するなどの工夫を心掛けてください。

(12) ビーチバレーボールなど屋外で競技を実施する場合には、特に仮設テントなどの設置物に関して、換気の悪い密閉空間とならないように注意してください。また、更衣室などでテントを閉鎖して使用する場合においても、一度に使用する人数を制限し、密集・密閉状態を避けるように表示するとともに関係者への周知徹底をお願いします。



(13) 主催者は、感染対策とともに熱中症のリスクにも備えてください。特に、マスクを着用していると水分補給を忘れてしまうことにより体温が上昇することがあるため、こまめに水分を補給するように注意喚起をお願いします。

(14) 会場で使用する机・椅子の消毒については、使用前に必ず消毒を行ってください。

① チームベンチについても、試合前に必ず消毒を行うこと。特に1日2試合以上開催の場合には試合間にもベンチの消毒を行うこと。

② 観客席の消毒についても開場前、退場後に必ず消毒を行うこと。



- ・ 除菌スプレー
- ・ 除菌ウェットティッシュ
- ・ 雑巾
- ・ ペーパータオル など

(15) ゴミの廃棄について、鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用することが求められます。また、マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒することが必要です。

3. 競技についての留意事項および配慮すべき事項について

(1) 競技を行う際は、以下の点に留意してください。

① 試合開始時、終了後は競技役員（係員）の指示で移動してください。

② 各チームで会場に持ち込む用具（練習球・トロリーなど）は、使用前後で必ず消毒を行ってください。

③ 試合への出場選手以外は、チーム関係者全員がマスクを着用してください。また、自身の感染リスクや他の選手に配慮してコート内の選手がマスクを着用しても問題ありません。

④ 試合球のボール使用については主催者側が判断します。ワンボール・スリーボール・ファイブボールシステムなど、競技役員（コートオフィシャル）の人数に合わせて運用してください。また、コート内の床拭きなども状況に応じて、チームで対応してください。

⑤ タオルの共有やドリンクの回し飲みは絶対に避けてください。また、チーム内で出たゴミは必ず持ち帰ってください（ゴミに関しては主催者側に確認ください）。

⑥ 試合終了後は、使用したベンチの消毒にご協力ください。



- ⑦ チームベンチは身体的距離が確保できるよう、1席分を空けて座ってください。
- ⑧ ベンチは2列にするなど通常ルールよりもベンチエリアを拡大して設置してください。
- ⑨ ウォームアップエリアについてはベンチ後方に設置し、ソーシャルディスタンス確保の観点から、可能な限り4m×4mの広さを確保してください（人数に合わせて長方形での設置も可能です）。
- ⑩ ベンチの選手及びチームスタッフは、ベンチ内及びウォームアップエリアではマスクを着用してください。
- ⑪ ベンチ内、ウォームアップエリア内では不要な会話・接触を避けてください。

(2) 競技用具および競技備品・試合球等について、以下の点にご留意ください。

- ① 試合球はできるだけ複数個用意し、こまめに消毒を行って交換しながら使用すること
- ② 線審のフラッグ、得点板、モップ等、試合で使用する備品類のこまめな消毒など衛生対応に留意すること
- ③ 審判員の笛（私物）についても、唾液の付いた状態での放置を避けるなど、不慮の接触を避けるため留意を求める。また、試合中はマスクとともに下図のホイッスルカバーの活用を奨励します

短管装着時



長管装着時



- ④ 競技に直接携わる、主審・副審、スコアラー・アシスタントスコアラー、ラインジャッジ、ボールリトリバー、モッパー、JVIMS担当は、感染リスクを避けるために、マスクおよびフェイスシールド、ビニール製の手袋を着用することが望ましい。

※主審・副審のスポーツゴーグル・フェイスシールド等の着用は、視野や透明性、曇って見えにくいなどの問題があげられます。必要に応じてご活用ください。

(3) 式典等の運営に関する簡略化を図り以下の点にご留意ください。

- ① 開・閉会式、表彰式などでは、参加者が密になる状態を避けるため、式典参加者の数を減らすなど内容を簡略化する。



- ② 試合前のコイントス時、キャプテンと審判間のあいさつや試合前後の握手に関して、当面は一礼などで代える形すること。
- ③ 書類等の手渡しによる感染拡大を防ぐため、書類は極力電子化して配付する。しかし、記録用紙等はこの限りではない。

(4) 競技中も選手、スタッフ同士の接触機会を減らすよう、以下の点に配慮が求められます。参加チームには、競技前に周知のうえ協力を要請してください。

- ① 試合前の円陣や、陣地での集合時においてもできるだけ密集・接触を避ける。
- ② 競技中のハイタッチは避け、腕のタッチにとどめる（できるだけ避けるように）。
- ③ 競技中は靴底を手でさわらない（シューズクリーナーなどの活用）。
- ④ ベンチでは離れて座り、ウォームアップエリアでも密に気をつけて私語は慎む。
- ⑤ タオル、水ボトル、アイシングパックなどの共用は禁止する。
- ⑥ ビーチバレーボール競技に携わる競技スタッフ（サンドレベラー、レトリバー）の注意事項も明確にしておく。

4. その他の留意事項について

(1) 飲食時は以下のルールを厳守願います。

- ① 食事中は会話を控え、また向かい合っでの食事は控えてください。
- ② 食事後は必ず、その付近の消毒をお願いします。
- ③ 食べ終わったゴミは放置せず、指定されたゴミ袋や段ボールなどにまとめ必ず持ち帰ってください（ゴミ処理に関しては主催者側に確認ください）。

(2) 大会の主催者は、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、大会当日に参加者より提出を求めた書面について、保存期間（少なくとも1ヵ月以上）を定めて保存しておくことが必要です。

また、大会終了後に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針については、開催自治体の衛生部局、保健所や医療機関との連携が重要になりますので、あらかじめ連絡先等の確認をしておくことが大切です。



5. 新型コロナウイルス感染症にかかる相談窓口について

(1) 新型コロナウイルス感染症が心配なとき、発熱・咳・咽頭痛などの症状で体調が悪い場合は、かかりつけ医のいる方は、かかりつけ医（病院）に電話でご相談ください。また、都道府県の発熱相談センターや厚生労働省の下記新型コロナウイルスに関する相談・医療の情報や受診・相談センターの連絡先を参照ください。

《参考》 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-kikokusyasessyokusya.html

- ① 各地域における医療機関・新型コロナウイルス受診相談窓口の受付時間や電話番号等は事前に確認しておくこと（休日・夜間等も）
- ② 医療機関の診療および検査結果において、陽性者と診断された場合には、保健所および医療機関の指示に従う

(2) 新型コロナウイルスは潜伏期間（発症の2～3日前）から他人に感染させる可能性があります。その期間に接触のあった方は、保健所から連絡により、濃厚接触者と認定される場合があります。また、感染してから発症するまでの潜伏期間は1日～14日（平均5日）です。感染源を探す際、14日間の行動（対人接触）をさかのぼってモニターすることになります。

(3) 新型コロナウイルス感染症に関わる窓口は、保健所および医療機関になります。これらの指示により対応することになります。

《参考》

■ 健康や医療相談の情報 / 感染防止と医療提供体制の整備

新型コロナウイルス感染防止のために

https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kenkou-iryousoudan.html#h2_1

新型コロナウイルス感染症に関する検査について

https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kansenkakudaiboushi-iryouteikyuu.html#h2_1

大会開催・実施時の感染防止策チェックリスト(主催者向け)

2021.3.5 更新版

全般的な事項

- 感染防止のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（イベントの受付場所等）に掲示すること
- 各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること
- 障がい者や高齢者など利用者の特性にも配慮すること
- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、参加当日に参加者より提出を求めた情報について、保存期間（少なくとも1カ月以上）を定めて保存しておくこと
- 参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、施設の立地する自治体の衛生部局とあらかじめ検討しておくこと

大会等の参加募集時の対応

主催者が参加者に求める感染拡大防止のための措置としては、以下のものが挙げられます。

- 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求めること
 - 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 直近14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参すること（参加受付や着替え等、スポーツを行っていない際や会話時にはマスクを着用する）
- 厚生労働省から提供されている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）や各地域で取り組んでいる通報サービスを活用すること
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2mを目安に、最低1m）を確保すること（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- 大会開催中は大きな声で会話、応援等をしないこと
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

当日の参加受付時の対応

- 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること
- 参加料等の徴収をできるだけ事前振り込み等で行い、当日の現金授受を極力避けること
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように、貼紙等により注意を促すこと
- 人と人が対面する場所は、換気を徹底するとともにアクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること

- 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと
- 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること
- インターネットやスマートフォンを使った電子的な受付の一層の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の授受等を避けるようにすること
- 当日の受付のほか、大会前日に受付を行うなど当日の混雑を極力避けること
- 大会の前に、厚生労働省から提供されている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）や各地域が取り組まれている通報サービスの活用を促すこと
- 参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求める
 - 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取り扱いに十分注意する
 - 利用当日の体温（直近2週間における以下の項目の有無）
 - 平熱を超える発熱
 - 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - だるさ、（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - 嗅覚や味覚の異常
 - 体が重く感じる、疲れやすい等
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 直近14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

大会等参加者への対応

- マスク等の準備**
 - 参加者がマスクを準備しているか確認すること
 - 参加の受付、着替え、表彰式等、運動、競技を行っていない間は、マスクの着用を求めること
なお、運動・スポーツ中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとするが、マスクを着用しない場合は会話を控え、咳エチケットを徹底するように注意を促すこと
- 大会等参加前後の留意事項**
 - 大会前後のミーティングにおいても、三つの密を避けること
 - 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること
 - 大会前後での懇親会の開催を控えること
 - 公共交通機関や飲食店等を利用する場合は、分散利用すること

大会等主催者が準備すべき事項の対応 ①

- 手洗い場所**
 - 手洗い場には石鹼（ポンプ型が望ましい）を用意すること
 - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
 - 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて用意すること（参加者にマイタオルの持参を求めても良い。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること）
 - 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること

□ 更衣室（シャワー室を含む）、休憩・待機スペース

- 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること（障がい者の介助を行う場合を除く）
- 休憩・待機スペースでは、対面で食事や会話をしないように促すこと
- ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること
- 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取っ手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒すること
- 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること
- 入退室前後での手洗いを促すこと（手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤の使用を促すこと）

□ 洗面所

- トイレ内での複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること
- トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること
- 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
- 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
- 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意すること（参加者にマイタオルの持参を求めても良い。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること）
- 利用者が密な状態になるおそれがある場合は、入場制限を行うこと
- 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること

大会等主催者が準備すべき事項の対応 ②

□ 飲食物の提供時

- 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること
- スポーツドリンク等の飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップで提供すること（ただし、ドーピング検査の対象となる者が参加するイベントでは、未開封の飲料を提供しなければならない）
- 果物等の食品については、参加者が同じトング等で大皿から取り分ける方式を避け、一人分を小皿に取り分けたものを参加者に提供するなど、工夫を行うこと
- 飲食物を取り扱うスタッフにはマスクを着用させること
- 利用者が密な状態になるおそれがある場合は、入場制限を行うこと

□ 観客の管理

- 有観客開催する場合は、観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、事前に観客席の数を減らすなどの対応をとること
- 大声での声援を送らないことや会話を控えること
- 会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知すること
- 選手等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じること
- 入退場時の密集回避（時間差入場等）を行うこと

□ 大会会場

- 試合やバレーボール教室、講習会・研修会を室内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよ

う、十分な換気を行うこと

- 換気設備を適切に運転することや、定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと
- 寒冷な場面では室温が下がらない範囲で常時窓開けすることや、乾燥する場面では湿度40%以上を目安に加湿すること
- 必要に応じ、CO2測定装置を設置する等により、換気状況を常時モニターし1000ppm以下を維持すること

ゴミの廃棄

- 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること
- マスクや手袋を外した後は、石鹸と流水で手を洗うか、手指消毒薬を使用するかのいずれかを行うこと

スタッフの管理等

- 発熱又は風邪等の症状が見られるスタッフについては、出勤を自粛すること
- ユニフォームや衣服はこまめに洗濯すること
- 事務作業等を行う場合は、業務に支障とならない範囲で、テレワーク等遠隔業務の実施を検討すること
- 会議等を行う場合は、オンラインでの実施を検討すること

※ 本チェックリストはあくまで一例であり、施設構造上の問題や特性等を勘案して、柔軟に対応いただきながら、上記以外に感染拡大防止のための必要な取り組みを適宜盛り込んでいただきますよう、お願いします。

大会開催・実施時の感染防止策チェックリスト(参加者向け)

2021.3.5 更新版

参加者が遵守すべき事項

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる
 - 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 直近14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参すること（参加受付や着替え等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）
- 厚生労働省から提供されている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）や各地域で取り組まれている通知サービスを活用すること
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2mを目安に、最低1m）を確保すること（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること
- イベントの前後のミーティングにおいても、三つの密を避けること
- イベント前後での懇親会の開催を控えること
- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（利用当日に書面で確認を行う）

歳入合計	9,786,140
歳出合計	8,158,140
差引残額	1,628,000

自 令和3年4月 1日
至 令和4年3月31日

単位:円

歳入の部		R3	R2(当初)						
項目		本年度	前年度	増減	説明	単価	数	金額	備考
1. 運営協力費		1,424,000	1,702,000	▲ 278,000					
1 運営協力金		1,322,000	1,600,000	▲ 278,000					
					協力金		チーム数		
					平安杯9人制(九州総合)	¥1,000	× 5	5,000	
					平安杯6人制	¥1,000	× 9	9,000	
					アザレア	¥1,000	× 2	2,000	
					全日本クラブカップ	¥1,000	× 5	5,000	男子のみ
					全国社会人	¥1,000	× 2	2,000	男子のみ
					全日本総合	¥1,000	× 5	5,000	
					九州クラブカップ	¥1,000	× 3	3,000	
					一般小計		28	31,000	
					県実業団リーグ	¥1,000	× 54	54,000	A男女23.B男女16.C男6.D男7
					阿波連杯	¥1,000	× 54	54,000	A男女23.B男女16.C男8.D男8
					県実業団リーグ	¥1,000	× 54	54,000	
					実連小計		162	162,000	
					九州総合(高校)	¥1,000	× 80	80,000	
					高校一年生大会	¥1,000	× 52	52,000	
					全国高校選手権予選	¥1,000	× 77	77,000	
					KBC杯(高校冬季)	¥1,000	× 80	80,000	
					高校小計		289	289,000	
					選手権大会	¥2,000	× 110	220,000	
					RBC中学新人	¥2,000	× 128	256,000	
					九州中学選抜	¥2,000	× 124	248,000	
					中学小計		362	724,000	※一年生大会はR3より廃止
					全日本小学生	¥1,000	× 86	86,000	
					小学連小計		86	86,000	
					ビーチ連盟	¥30,000	× 1	30,000	
					ビーチ小計		1	30,000	
					合計			1,322,000	
2 大会参加費		102,000	102,000		天皇杯・皇后杯	¥6,000	× 17	102,000	
					U14	¥1,000	×	0	
					小計		17	102,000	
2. 登録費		4,359,660	4,359,660	0					
1 チーム登録費		2,918,000	2,918,000	0					
					登録料		チーム数		
					一般	¥4,000	× 22	88,000	
					実連	¥5,000	× 54	270,000	
					大学	¥8,000	× 8	64,000	
					高等学校	¥10,000	× 99	990,000	
					中学校	¥6,000	× 151	906,000	
					小学連	¥2,000	× 185	370,000	
					マスターズ連	¥5,000	× 37	185,000	
					ママ連(県協会)	¥1,000	× 45	45,000	
					小計		601	2,918,000	
2 選手登録費		1,441,660	1,441,660	0	個人登録会費配賦金(JVA-MRS)			1,441,660	
3. 協賛金		600,000	300,000	300,000					
1 協賛金		300,000	300,000	0	協賛金(平安杯)			300,000	平安病院
		300,000		300,000	協賛金(KBC杯)			300,000	KBC学園より
5. 交付金		561,480	561,480	0					
1 交付金		561,480	561,480	0	スポーツ振興基金交付金(県体育協会)			52,500	
					国体傷害保障制度			58,000	
					天皇杯・皇后杯運営費(JVA)			135,000	
					県民体育大会運営費(県体育協会)5年に1回は難員			315,980	
6. 寄付金		0	100,000	▲ 100,000					
1 寄付金			100,000	▲ 100,000					
7. 雑収入		1,000	501,000	▲ 500,000					
1 預金利息		1,000	1,000	0					
2 雑収入			500,000	▲ 500,000					
3 過年度収入		0	0	0					
8. 繰越・繰入金		2,840,000	416,000	2,424,000					
1 繰越金		1,000	1,000	0	前年度一般会計繰越金				
2 繰入金		2,839,000	415,000	2,424,000	※令和2年度より繰り越し分				
合計		9,786,140	7,940,140	1,846,000					

歳出の部

単位:円

項目	本年度	前年度	増減	説明	単価	数	金額	備考
1 会議費	58,000	40,000	18,000					
1 理事会	40,000	40,000	0	会議室使用、会議費(¥5,000×2回)				
2 常任理事会	18,000	0	18,000	¥2,000×10回(会議費)				
2 事務局費	1,580,000	1,580,000	0					
1 通信費	240,000	240,000	0	切手代、Wi-Fi、携帯電話(理事長、総務、競技、会計)通話料				
2 消耗品	100,000	100,000	0	事務用品代他				
3 印刷製本	300,000	300,000	0	協会封筒、表彰状印刷				
4 備品	10,000	10,000	0					
5 旅費	800,000	800,000	0	九州総合、国体、天皇杯、JOC、全国理事長会、九州理事会等 理事長、会長旅費				
6 使用料・手数料	130,000	130,000	0	表彰式会場料、コピー代、振込手数料等				
3 事業費	5,758,480	5,558,480	200,000					
①総務委員会費	231,000	231,000	0					
1 旅費	160,000	160,000	0	九州理事長・委員長会議等				
2 研修費	70,000	70,000	0	県協会ホームページ作成検討会費				
3 通信費	1,000	1,000	0					
②審判委員会費	1,000,000	1,000,000	0					
1 旅費	975,000	975,000	0	九州理事長・委員長会議等				
2 研修費	20,000	20,000	0					
3 通信費	5,000	5,000	0					
③競技委員会費	150,000	150,000	0					
1 旅費	135,000	135,000	0	九州理事長・委員長会議等				
2 研修費	10,000	10,000	0					
3 通信費	5,000	5,000	0					
④指導普及強化委員会費	252,000	252,000	0					
1 旅費	222,000	222,000	0	全国指導普及委員会・指導者養成講習会等				
2 研修費	20,000	20,000	0	九州ブロック国体・本国体激励等				
3 通信費	10,000	10,000	0					
⑤表彰委員会費	140,000	140,000	0					
1 会議費	10,000	10,000	0					
2 表彰関係費	10,000	10,000	0	消耗品費、他				
3 表彰会式典費	120,000	120,000	0					
⑥加盟団体補助費	2,047,500	2,047,500	0	固定費①	補助単価	チーム数		
1 実業団連盟	179,000	179,000	0		¥2,000	× 22	44,000	MRS登録チーム
					¥2,500	× 54	135,000	
2 大学連盟	32,000	32,000	0		¥4,000	× 8	32,000	
3 高校専門部	495,000	495,000	0		¥5,000	× 99	495,000	
4 中学専門部	954,000	954,000	0	OTV放映料込	¥3,000	× 151	453,000	登録費
					¥1,000	× 362	362,000	OTV放映料
5 小学生連盟	185,000	185,000	0		¥1,000	× 185	185,000	
6 マスターズ連盟	92,500	92,500	0		¥2,500	× 37	92,500	
7 ビーチ連盟	50,000	50,000	0		¥50,000	× 1	50,000	吉田カップ運営補助
8 地域協会	60,000	60,000	0	理事会参加等旅費	¥30,000	× 2	60,000	宮古協会、八重山協会
					小計		1,908,500	
⑦大会運営費	1,045,980	745,980	300,000	固定費②				
1 天皇杯・皇后杯	130,000	130,000	0	天皇杯・皇后杯県大会運営費				
2 県民体育大会	315,980	315,980	0	県民体育大会運営費(5年に1回は先島大会)				
3 平安杯	300,000	300,000	0	一般 ¥150,000 高校 ¥150,000				
4 KBC杯	300,000	300,000	0	高校 ¥300,000				
⑧交流・強化事業費	872,000	872,000	0					
1 事業費	700,000	700,000	0	交流・強化事業旅費、JOC強化補助他				
2 ビーチ強化費	100,000	100,000	0					
3 JOC強化費	72,000	72,000	0	JOC大会参加費				
⑨強化・普及・補助費	20,000	120,000	▲ 100,000					
1 事業費	20,000	20,000	0	小学生男子普及モデル事業など				
4 分担金	406,000	406,000	0	固定費③				
1 分担金	406,000	406,000	0	九州連盟分担金			50,000	
				県体協加盟団体分担金			80,000	
				九州小学生大会			40,000	
				九州ブロック国体競技団体負担金			18,000	
				国体傷害保障制度			58,000	
				県体育協会賛助会費			110,000	¥5,000×22人
				九州U14男子大会運営分担金			30,000	
				ホームページ管理負担金			20,000	
				小計			406,000	
5 渉外費	300,000	300,000	0					
1 渉外費	300,000	300,000	0	県高体連、県中体連関係懇談会、国体入賞者祝賀会、県体協新春のつどい、県体懇談会等 役員渉外費・慶弔費他				
6 予備費	4,660	4,660	0					
1 予備費	4,660	4,660	0					
7 積立金	51,000	51,000	0					
1 積立費	1,000	1,000	0					
2 周年事業積立	50,000	50,000	0					
合計	8,158,140	7,940,140	218,000					

歳入合計	9,786,140
歳出合計	7,241,480
差引残額	2,544,660

自 令和3年4月 1日
至 令和4年3月31日

単位:円

歳入の部		R3	R2(当初)						
項目		本年度	前年度	増減	説明	単価	数	金額	備考
1. 運営協力費		1,424,000	1,702,000	▲ 278,000					
1 運営協力金		1,322,000	1,600,000	▲ 278,000					
					協力金		チーム数		
					平安杯9人制(九州総合)	¥1,000	× 5	5,000	
					平安杯6人制	¥1,000	× 9	9,000	
					アザレア	¥1,000	× 2	2,000	
					全日本クラブカップ	¥1,000	× 5	5,000	男子のみ
					全国社会人	¥1,000	× 2	2,000	男子のみ
					全日本総合	¥1,000	× 5	5,000	
					九州クラブカップ	¥1,000	× 3	3,000	
					一般小計		28	31,000	
					県実業団リーグ	¥1,000	× 54	54,000	A男女23.B男女16.C男6.D男7
					阿波連杯	¥1,000	× 54	54,000	A男女23.B男女16.C男8.D男8
					県実業団リーグ	¥1,000	× 54	54,000	
					実連小計		162	162,000	
					九州総合(高校)	¥1,000	× 80	80,000	
					高校一年生大会	¥1,000	× 52	52,000	
					全国高校選手権予選	¥1,000	× 77	77,000	
					KBC杯(高校冬季)	¥1,000	× 80	80,000	
					高校小計		289	289,000	
					選手権大会	¥2,000	× 110	220,000	
					RBC中学新人	¥2,000	× 128	256,000	
					九州中学選抜	¥2,000	× 124	248,000	
					中学小計		362	724,000	※一年生大会はR3より廃止
					全日本小学生	¥1,000	× 86	86,000	
					小学連小計		86	86,000	
					ビーチ連盟	¥30,000	× 1	30,000	
					ビーチ小計		1	30,000	
					合計			1,322,000	
2 大会参加費		102,000	102,000		天皇杯・皇后杯	¥6,000	× 17	102,000	
					U14	¥1,000	×	0	
					小計		17	102,000	
2. 登録費		4,359,660	4,359,660	0					
1 チーム登録費		2,918,000	2,918,000	0					
					登録料		チーム数		
					一般	¥4,000	× 22	88,000	
					実連	¥5,000	× 54	270,000	
					大学	¥8,000	× 8	64,000	
					高等学校	¥10,000	× 99	990,000	
					中学校	¥6,000	× 151	906,000	
					小学連	¥2,000	× 185	370,000	
					マスターズ連	¥5,000	× 37	185,000	
					ママ連(県協会)	¥1,000	× 45	45,000	
					小計		601	2,918,000	
2 選手登録費		1,441,660	1,441,660	0	個人登録会費配賦金(JVA-MRS)			1,441,660	
3. 協賛金		600,000	300,000	300,000					
1 協賛金		300,000	300,000	0	協賛金(平安杯)			300,000	平安病院
		300,000		300,000	協賛金(KBC杯)			300,000	KBC学園より
5. 交付金		561,480	561,480	0					
1 交付金		561,480	561,480	0	スポーツ振興基金交付金(県体育協会)			52,500	
					国体傷害保障制度			58,000	
					天皇杯・皇后杯運営費(JVA)			135,000	
					県民体育大会運営費(県体育協会)5年に1回は難員			315,980	
6. 寄付金		0	100,000	▲ 100,000					
1 寄付金			100,000	▲ 100,000					
7. 雑収入		1,000	501,000	▲ 500,000					
1 預金利息		1,000	1,000	0					
2 雑収入			500,000	▲ 500,000					
3 過年度収入		0	0	0					
8. 繰越・繰入金		2,840,000	416,000	2,424,000					
1 繰越金		1,000	1,000	0	前年度一般会計繰越金				
2 繰入金		2,839,000	415,000	2,424,000	※令和2年度より繰り越し分				
合計		9,786,140	7,940,140	1,846,000					

歳出の部

単位:円

項目	本年度	前年度	増減	説明	単価	数	金額	備考
1 会議費	50,000	40,000	10,000					
1 理事会	32,000	40,000	▲ 8,000	会議室使用、会議費(¥5,000×2回)				
2 常任理事会	18,000	0	18,000	¥2,000×10回(会議費)				
2 事務局費	1,264,000	1,580,000	▲ 316,000					
1 通信費	192,000	240,000	▲ 48,000	切手代、Wi-Fi、携帯電話(理事長、総務、競技、会計)通話料				
2 消耗品	80,000	100,000	▲ 20,000	事務用品代他				
3 印刷製本	240,000	300,000	▲ 60,000	協会封筒、表彰状印刷				
4 備品	8,000	10,000	▲ 2,000					
5 旅費	640,000	800,000	▲ 160,000	九州総合、国体、天皇杯、JOC、全国理事長会、九州理事会等 理事長、会長旅費				
6 使用料・手数料	104,000	130,000	▲ 26,000	表彰式会場料、コピー代、振込手数料等				
3 事業費	5,226,480	5,558,480	▲ 332,000					
①総務委員会費	185,000	231,000	▲ 46,000					
1 旅費	128,000	160,000	▲ 32,000	九州理事長・委員長会議等				
2 研修費	56,000	70,000	▲ 14,000	県協会ホームページ作成検討会費				
3 通信費	1,000	1,000	0					
②審判委員会費	800,000	1,000,000	▲ 200,000					
1 旅費	780,000	975,000	▲ 195,000	九州理事長・委員長会議等				
2 研修費	16,000	20,000	▲ 4,000					
3 通信費	4,000	5,000	▲ 1,000					
③競技委員会費	120,000	150,000	▲ 30,000					
1 旅費	108,000	135,000	▲ 27,000	九州理事長・委員長会議等				
2 研修費	8,000	10,000	▲ 2,000					
3 通信費	4,000	5,000	▲ 1,000					
④指導普及強化委員会費	202,000	252,000	▲ 50,000					
1 旅費	178,000	222,000	▲ 44,000	全国指導普及委員会・指導者養成講習会等				
2 研修費	16,000	20,000	▲ 4,000	九州ブロック国体・本国体激励等				
3 通信費	8,000	10,000	▲ 2,000					
⑤表彰委員会費	112,000	140,000	▲ 28,000					
1 会議費	8,000	10,000	▲ 2,000					
2 表彰関係費	8,000	10,000	▲ 2,000	消耗品費、他				
3 表彰会式典費	96,000	120,000	▲ 24,000					
⑥加盟団体補助費	2,047,500	2,047,500	0	固定費①	補助単価	チーム数		
1 実業団連盟	179,000	179,000	0		¥2,000	× 22	44,000	MRS登録チーム
					¥2,500	× 54	135,000	
2 大学連盟	32,000	32,000	0		¥4,000	× 8	32,000	
3 高校専門部	495,000	495,000	0		¥5,000	× 99	495,000	
4 中学専門部	954,000	954,000	0	OTV放映料込	¥3,000	× 151	453,000	登録費
					¥1,000	× 362	362,000	OTV放映料
5 小学生連盟	185,000	185,000	0		¥1,000	× 185	185,000	
6 マスターズ連盟	92,500	92,500	0		¥2,500	× 37	92,500	
7 ビーチ連盟	50,000	50,000	0		¥50,000	× 1	50,000	吉田カップ運営補助
8 地域協会	60,000	60,000	0	理事会参加等旅費	¥30,000	× 2	60,000	宮古協会、八重山協会
					小計		1,908,500	
⑦大会運営費	1,045,980	745,980	300,000	固定費②				
1 天皇杯・皇后杯	130,000	130,000	0	天皇杯・皇后杯県大会運営費				
2 県民体育大会	315,980	315,980	0	県民体育大会運営費(5年に1回は先島大会)				
3 平安杯	300,000	300,000	0	一般 ¥150,000 高校 ¥150,000				
4 KBC杯	300,000	300,000	0	高校 ¥300,000				
⑧交流・強化事業費	698,000	872,000	▲ 174,000					
1 事業費	560,000	700,000	▲ 140,000	交流・強化事業旅費、JOC強化補助他				
2 ビーチ強化費	80,000	100,000	▲ 20,000					
3 JOC強化費	58,000	72,000	▲ 14,000	JOC大会参加費				
⑨強化・普及・補助費	16,000	120,000	▲ 104,000					
1 事業費	16,000	20,000	▲ 4,000	小学生男子普及モデル事業など				
4 分担金	406,000	406,000	0	固定費③				
1 分担金	406,000	406,000	0	九州連盟分担金			50,000	
				県体協加盟団体分担金			80,000	
				九州小学生大会			40,000	
				九州ブロック国体競技団体負担金			18,000	
				国体傷害保障制度			58,000	
				県体育協会賛助会費			110,000	¥5,000×22人
				九州U14男子大会運営分担金			30,000	
				ホームページ管理負担金			20,000	
				小計			406,000	
5 渉外費	240,000	300,000	▲ 60,000					
1 渉外費	240,000	300,000	▲ 60,000	県高体連、県中体連関係懇談会、国体入賞者祝賀会、県体協新春のつどい、県体懇談会等 役員渉外費・慶弔費他				
6 予備費	4,000	4,660	▲ 660					
1 予備費	4,000	4,660	▲ 660					
7 積立金	51,000	51,000	0					
1 積立費	1,000	1,000	0					
2 周年事業積立	50,000	50,000	0					
合計	7,241,480	7,940,140	▲ 698,660					